





<div><h1>警告</h1></div> <div>誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに 結びつく可能性があるもの</div>			
<div><h2>禁止</h2></div>	器具の改造や指定部品以外の交換はしない。 必ず三菱電機照明製直管 LED ランプを使用する (火災・感電・落下の原因)	<div><h2>禁止</h2></div>	<div>器具を布や紙などで覆わない (可燃物をかぶせて使うと火災の原因)</div> <div>器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない (火災・感電の原因)</div>

 <h1>注意</h1>		誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの	
 <h2>禁止</h2>	お客さま自身で電気工事はしない（感電・火災の原因）電気工事事の資格が必要です。 器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない（過熱して火災の原因） 光を直視しない（長時間直視すると目を痛める原因） 節電その他の理由でランプを取り外して間引き点灯しない	 <h2>厳守</h2>	器具は指定の制御装置と組み合わせて使用する（過熱して火災の原因） 明るく安全にご使用いただくために、半年に1回は「安全チェックシート」により自主点検をする ・「安全チェックシート」については弊社ホームページをご覧ください。 3年に1回は工事店等の専門家による点検を行う（点検不備により、火災・感電・落下の原因）
 <h2>厳守</h2>	●照明器具には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換してください。※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。 ・周囲温度が高い場合は寿命が短くなります。・点検せずに長期間使用し続けると、まれに、感電・発煙・発火などに至る恐れがあります。		

- テレビ、ラジオなどの音響機器や、赤外線リモコン、ワイヤレス機器などに、雑音や動作不良を起こす場合があります。
- 器具の近くでワイヤレスマイクを使用すると、雑音が入り正常に作動しない場合があります。
- 放送設備などの音声信号や映像信号は微弱なため、電源線や安定器の配線からの雑音を受けることがあります。

ランプ交換

電源 ON 状態でランプ交換を行わないでください。保護動作にランプが点灯しない場合があります。その際は、入れなおしてください。

清掃

器具のお手入れについて

器具の汚れがひどいときは、柔らかい布を使用量の目安まで水でうすめた台所用中性洗剤につけてよくしぼってから拭きとり、さらに洗剤成分が残らないようによくしぼった水拭き用の柔らかい布で仕上げてください。台所用中性洗剤は、原液のまま使用しないとともに、シンナー・ベンジン・みがき粉やたわし・熱湯・アルカリ性洗剤・薬品などは使用しないでください。

ランプのお手入れについて

ランプカバーはキズがつきやすいのでメガネ拭き等柔らかい布で拭いてください。強い力で拭いたり、化学雑巾を使用しないでください。

適合ランプ LDL40

三菱電機照明製ランプを使用してください。

⚠️ 注意

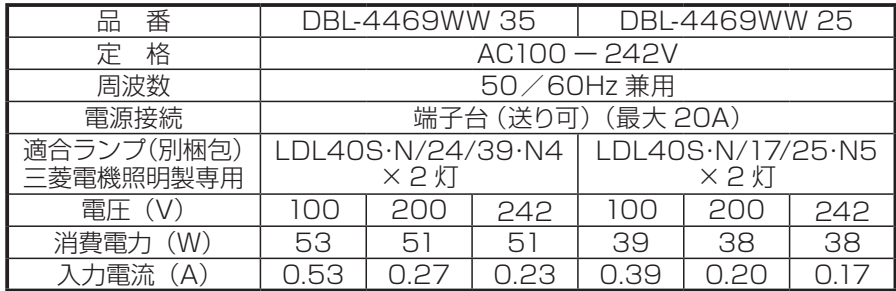
- 点灯中及び消灯直後のランプや器具には触らない（高温のためやけどの原因）
- ランプをソケットに確実に取付ける（取付けが不完全な場合落下の原因）
- 使用済みのランプを不用意に割らない（けがの原因）
- ソケットの清掃に洗剤を使用しない（洗剤でソケットが破損しランプ落下の原因）
- 違う種類の適合ランプを混ぜて使用しない（短寿命の可能性有）

1. **保証について**
この商品の保証期間は3年です。但し、消耗品は除きます。
詳細は弊社カタログをご参照ください。
※保証期間の例外：24時間連続使用点灯など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。
2. **保証書について**
保証書が必要な場合は、「CS センター」までお申し出ください。
3. **補修用性能部品の保有期間**
弊社は、照明器具の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低 6 年間保有しています。補修用性能部品（同等の機能を有する代替品含む）とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

警告 煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源を切る（火災・感電の原因）

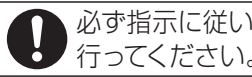
照明器具の機能・性能等のお問合せは、下記までお電話ください。
CSセンター (0570)003-937(ナビダイヤル)
 受付時間(月～金曜) 9:00～17:00 土・日・祝日、夏季、年末年始休業日は受付していません。

大光電機株式会社 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋 3-2-7 高麗橋ビル 6F

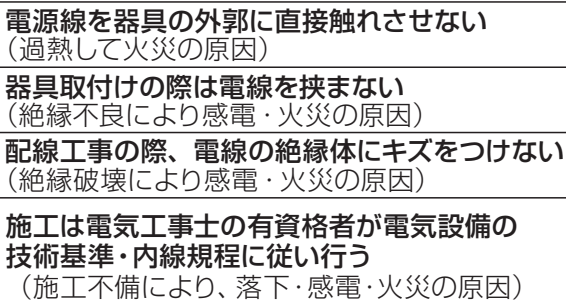
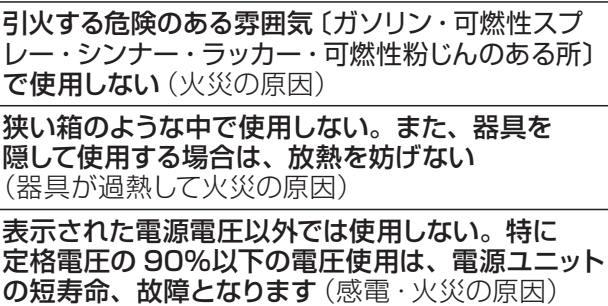


○施工の前に、この「取扱説明書」を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
○取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

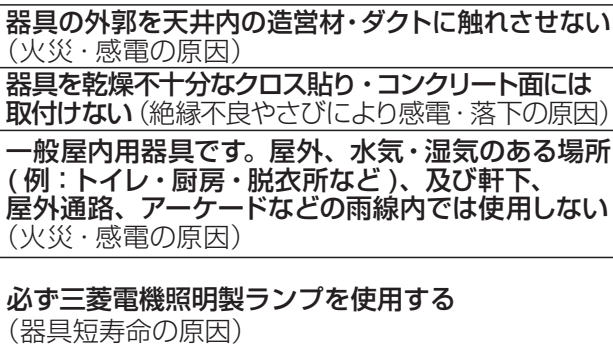
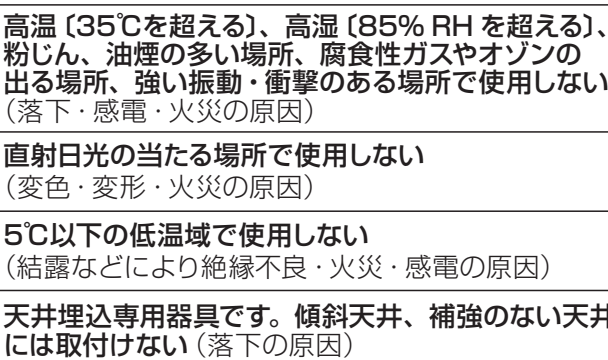
■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、⚠警告、⚠注意の表示で区分して説明しています。表示の意味は表中で説明しています。



誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに
結びつく可能性があるもの



誤った取扱いをしたときに、傷害または
家屋・家財などの損害に結びつくもの

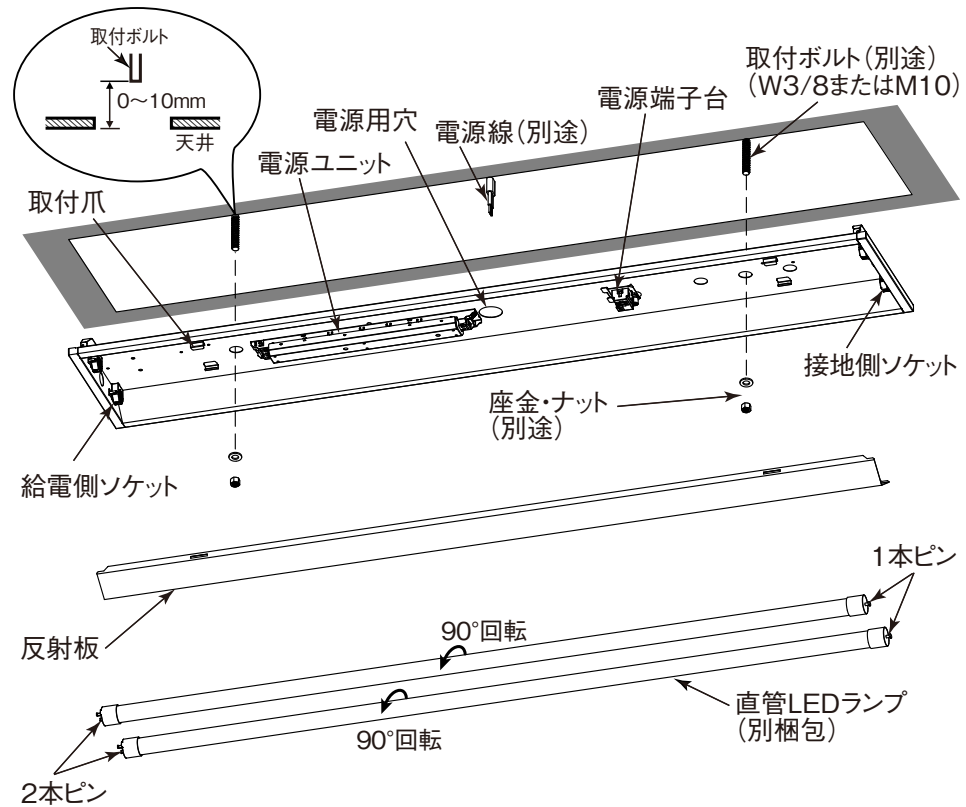


- 硫黄成分を含む温泉地など、腐食性ガスやオゾンが発生する場所での使用はお避けください。光学特性等に不具合が発生することがあります。
- 油煙のある場所では使用しないでください（光学特性が低下する原因となります）。
- 器具と半導体スイッチ式人感センサスイッチを組合せるとチラツキや騒音の発生、電源ユニット故障の恐れがあります。リレー接点式人感センサスイッチをご使用ください。
- 電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、電力線搬送機器が正常に作動しない場合があります。

- 壁面や床面等への照射距離が近い時や照射面によっては光ムラが気になる場合があります。
- LED 素子にはバラツキがあるため、器具内の個々の LED や同一品番の器具でも発光色・明るさが異なる場合があります。
- 点灯、消灯時にカバー、反射板、ランプの収縮・膨張により、きしみ音や反りが発生する場合がありますが異常ではありません。

各部のなまえと取付けかた

⚠ 警告 器具の取付けは取扱説明書に従い行う（不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因）



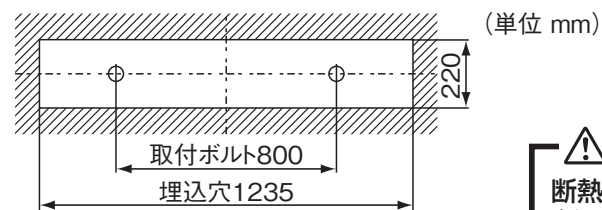
1 取付前の確認

○器具質量（約 3.4kg）に十分耐えるよう、取付ボルトの強度を確保する。

⚠ 警告
器具の取付けは質量に耐える所に
取付ける（落下の原因）

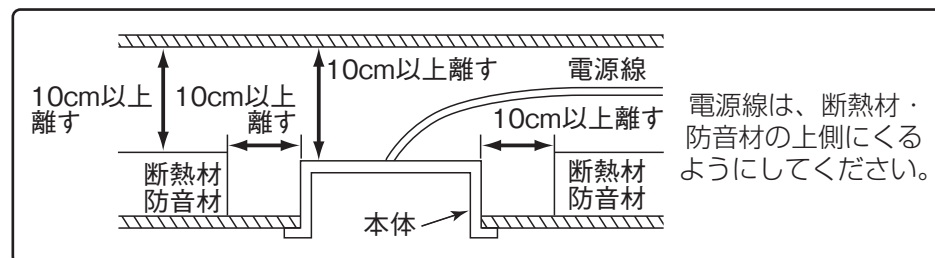
2 天井に埋込穴をあける

○埋込穴、取付ボルトを図のように用意する。



⚠ 警告
断熱施工天井に取付けない
(火災の原因)

断熱材・防音材をご使用の場合は、次の取付条件をお守りください。



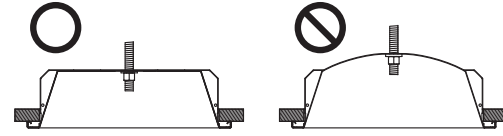
電源線は、断熱材・防音材の上側にくるようにしてください。

3 器具本体をボルトに取付ける

- (1) 使用する電源穴に付属のコードブッシュをはめ込む。
- (2) 電源線・アース線を器具本体のブッシュ付電源穴から引き込んでおく。
- (3) 本体を取付ボルトに確実に取付ける。
ナットの締付トルクは 0.7 ~ 1 N・m です。

⚠ 警告
器具を確実に取付ける
(落下の原因)

締付トルクが過ぎると、
器具変形、天井面との
すき間の原因となります。



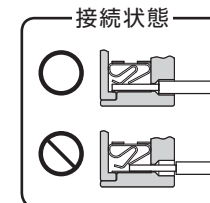
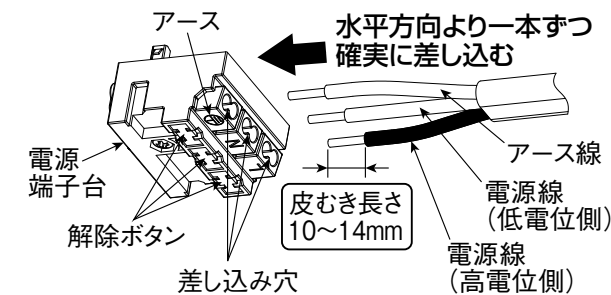
4 電源線を電源端子台に接続する

- (1) アース線を電源端子台の差し込み穴に水平方向より確実に差し込む。
- (2) 電源線を電源端子台の差し込み穴に、水平方向より一本ずつ確実に差し込む。

< D種 (第3種) 接地工事が必要です。 >

・電源端子台の容量は **20A** です

・適合電線：
φ 1.6mm VVF 単線 または φ 2.0mm VVF 単線

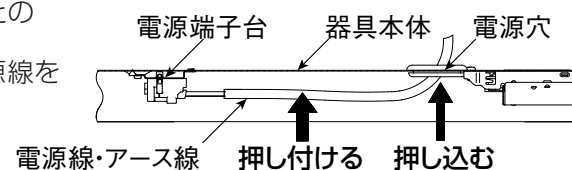


・電源線接続の速結端子の電源線を取り外すときは、幅6mmのマイナスドライバーで解除ボタンをまっすぐに押す。

⚠ 警告

- ・送り配線は照明器具専用とし、容量を確認して接続する
(容量を超えると電源端子台が過熱・損傷し火災の原因)
- ・電源の接続は適合太さの電源線の被覆を指定長さにむき、
1本ずつ速結端子の奥まで差し込む
(差し込み不十分は接触不良により、火災・感電の原因)

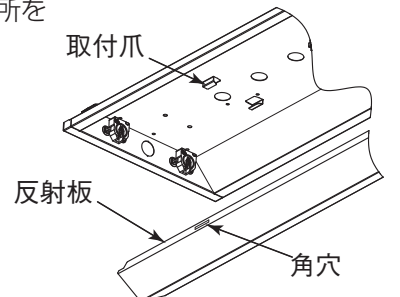
- (3) 電源線・アース線の接続後、余分な電源線は反射板との当たりを防ぐため電源穴に押し込み、電源線を器具本体に押し付ける。



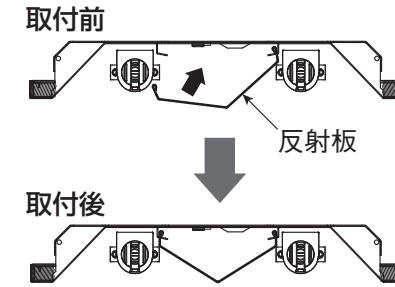
5 反射板を取付ける

○反射板の角穴を本体の取付爪に片側2ヶ所を引っ掛け、反射板をつまみながら、もう一方の角穴を取付爪にはめこむ。

⚠ 警告
反射板取付けの際は電線をはさまない
(絶縁不良により感電・火災の原因)



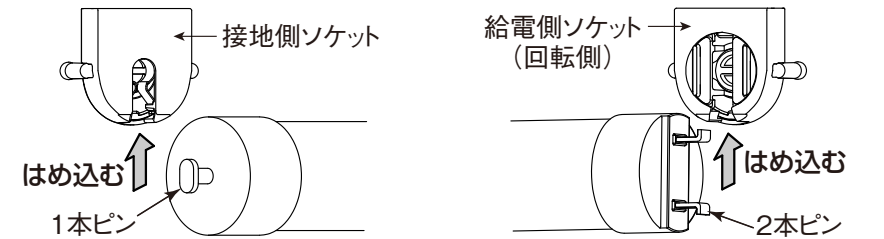
⚠ 注意
反射板を確実に取付ける
(落下の原因)



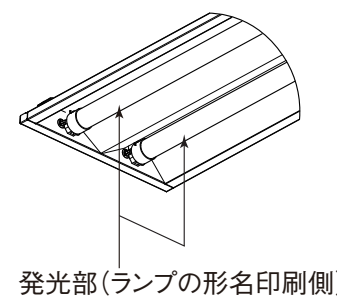
○反射板取付後、下に引き下げ、確実に取付いていることを確認する。

6 ランプを確実に取付ける

- (1) 接地側（ランプ1本ピン）を取付ける。
- (2) 給電側（ランプ2本ピン）を取付ける。



- (3) ランプの発光部が照射方向となるように 90 度回転させ確実に取付ける。



⚠ 注意

給電側ソケット内部の三角形状が直下にくるよう90度回転させて確実に取付ける
(落下の原因)

7 連続取付けの場合

- (1) 埋込穴、取付ボルトを下図のように設ける。（単位 mm）

※Nは連結台数を示す。

